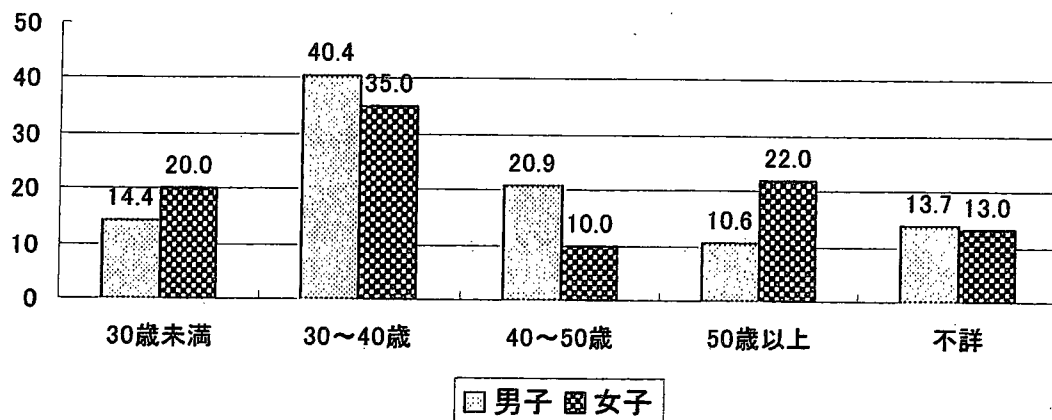


図一18 常時雇用者1施設当り年齢別構成割合・総数
常時雇用者 数値:%



(3) 常時雇用者の1日平均労働時間 (図一19・次頁参照)

常時雇用者の1日平均労働時間を経営主体別にみたのが図一19である。

総数では、「9時間超」32.2%が最も多く、次いで「8～9時間」31.9%、3番目に多いのが「7～8時間」23.5%で、この三者の合計が87.6%である。経営主体別にみると、個人経営は「9時間超」の37.1%が最も多い。株式会社も「9時間超」が1位で35.0%と高い比率を示している。有限会社の1位「8～9時間」が1位で35.0%である。

(4) 月平均休日数 (図一20・次頁参照)

常時雇用者の月平均休日数を経営主体別にみたのが図一20である。「4～7日」がどの経営主体別でも1位であり86～91%台と高い比率を示している。他は一ケタ台の数値である。

図-19 1日平均労働時間階層別割合・経営主体別
常時雇用者・数値:%

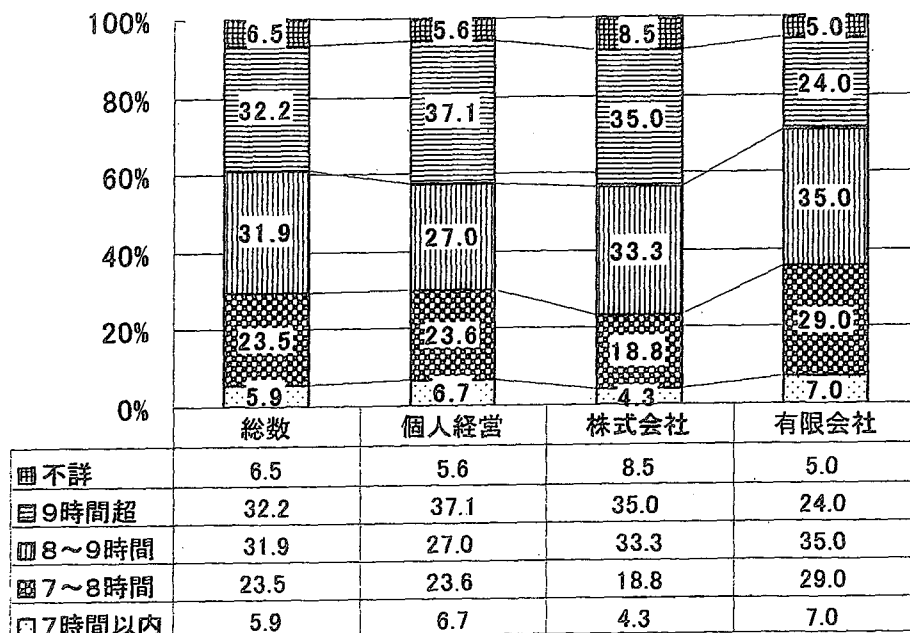
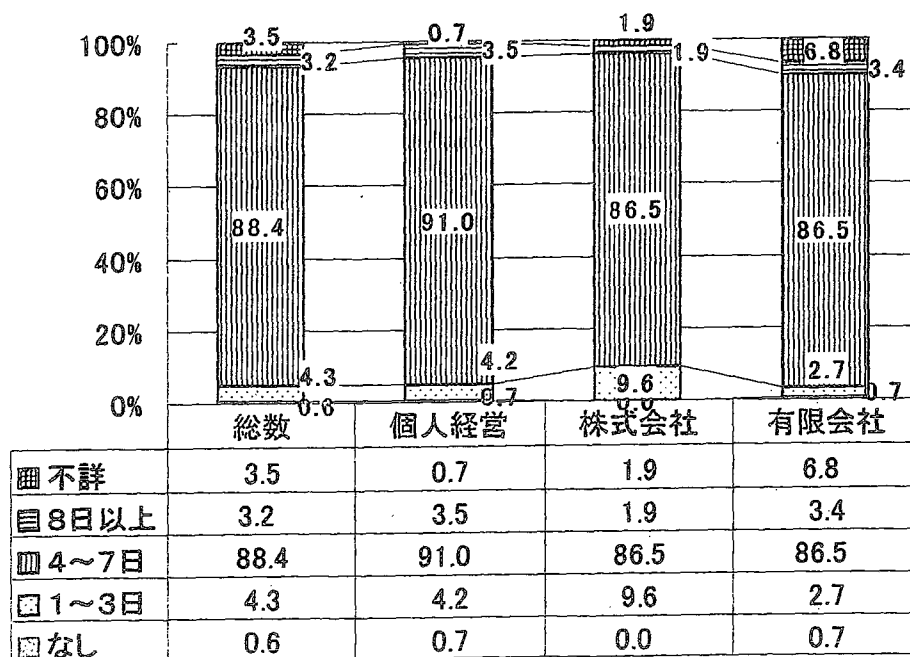


図-20 月平均休日数取得割合・経営主体別
常時雇用者・数値:%

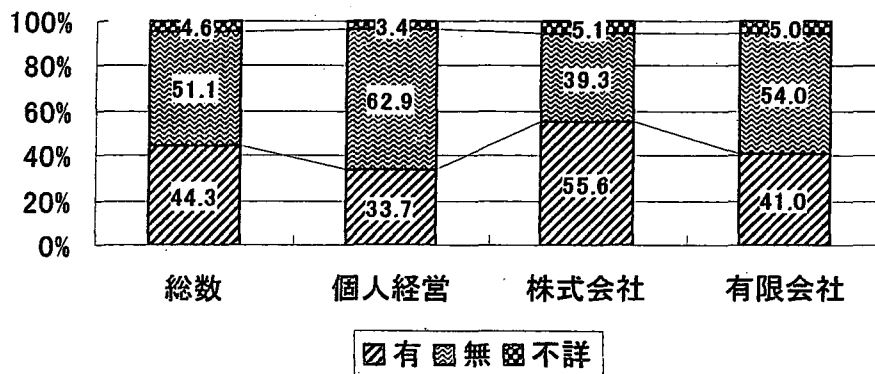


(5) 労働時間短縮努力の有無及び内容

① 労働時間短縮努力の有無 (図-21)

労働時間短縮努力の有無については、総数では「努力有り」44.3%で、個人経営は33.7%、株式会社55.6%、有限会社41.0%と株式会社が5割強の数値で1位、「努力なし」では個人経営62.9%、有限会社54.0%、株式会社39.3%で、総数は51.1%である。

図-21 労働時間短縮努力の有無・経営主体別
数値:%



② 労働時間短縮内容 (表-19)

労働時間短縮内容について総数で努力率をみると、「週休2日」11.7%、「計画休暇制度」25.4%、「設備導入省力化」4.9%、「その他」6.2%となっている。

表-19 労働時間短縮努力の有無・内容の構成割合・経営主体別

	総数	努力有り施設		努力有りの労働時間短縮努力項目別割合(複数回答)								努力無し施設数			
		数	(%)	週休2日		計画休暇制度		設備導入省力化		その他の努力		不詳		数	(%)
				企業数	(%)	企業数	(%)	企業数	(%)	企業数	(%)	企業数	(%)		
総数	307	136	44.3	36	11.7	78	25.4	15	4.9	19	6.2	2	0.7	171	55.7
個人経営	89	30	33.7	5	5.6	15	16.9	4	4.5	6	6.7	0	0.0	59	66.3
株式会社	117	65	55.6	24	20.5	35	29.9	7	6.0	8	6.8	2	1.7	52	44.4
有限会社	100	41	41.0	7	7.0	28	28.0	4	4.0	5	5.0	-	-	59	59.0

◎対象企業数は「常時雇用者のいる企業」のみ

(6) 就業規則の有無及び内容 (表-20及び図-22・次頁参照)

① 就業規則の有無 (図-22)

就業規則有無については、総数では「有り」は53.4%、個人経営は29.2%、株式会社78.6%、有限会社46.0%となっている。

② 就業規則「有り」の内容 (表-20)

就業規則「有り」の内容を見ると、総数では「賃金」は38.4%、「退職手当」23.1%、「休暇」37.5%、「職業訓練」6.2%となっている。就業規則「有り」の最も高い株式会社の内容は、「賃金」は62.4%、「退職手当」44.4%、「休暇」61.5%、「職業訓練」12.0%となっている。

図-22 就業規則の有無・経営形態別・数値:%
(対象企業は「常時雇用者のいる企業のみ」)

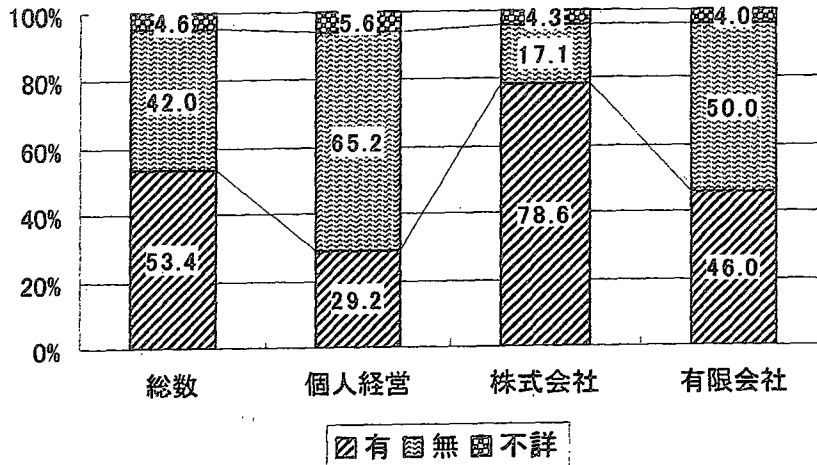


表-20 就業規則項目整備状況

	総数	就業規則有り回答の項目別割合(重複回答)											
		賃金		退職手当		休暇		職業訓練		その他		不詳	
		企業数	(%)	企業数	(%)	企業数	(%)	企業数	(%)	企業数	(%)	企業数	(%)
総数	307	118	38.4	71	23.1	115	37.5	19	6.2	18	5.9	14	4.6
個人経営	89	15	16.9	4	4.5	15	16.9	3	3.4	2	2.2	1	1.1
株式会社	117	73	62.4	52	44.4	72	61.5	14	12.0	13	11.1	5	4.3
有限会社	100	30	30.0	15	15.0	28	28.0	2	2.0	3	3.0	8	8.0

◎対象企業数は「常時雇用者のいる企業」のみ

(7) 国民年金・厚生年金制度への加入状況 (図-23 及び 24・次頁参照)

① 国民年金基金加入状況 (図-23)

国民年金基金に加入している比率は総数で見ると、加入率は13.4%であり、個人経営では7.9%、株式会社14.5%、有限会社17.0%と加入率は低い。

② 厚生年金基金加入状況 (図-24)

厚生年金基金に加入している比率は総数で見ると、加入率は29.6%であり個人経営では2.2%、株式会社52.1%、有限会社28.0%と加入率は低いが、国民年金基金への加入率に比べて、個人経営以外は厚生年金基金への加入率は高い。

図-23 国民年金基金制度加入状況・経営形態別
数値:%

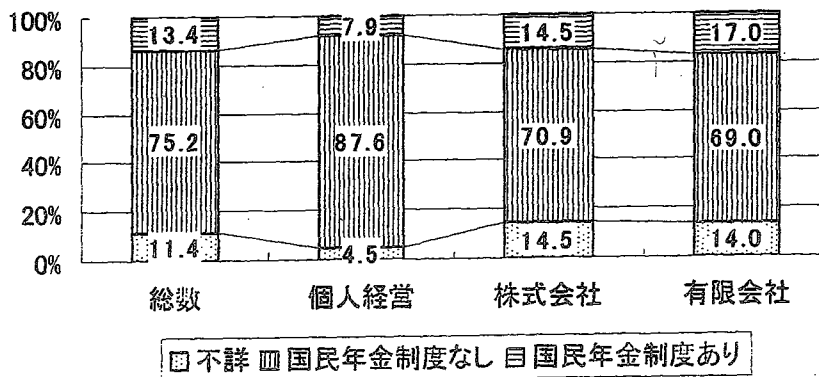
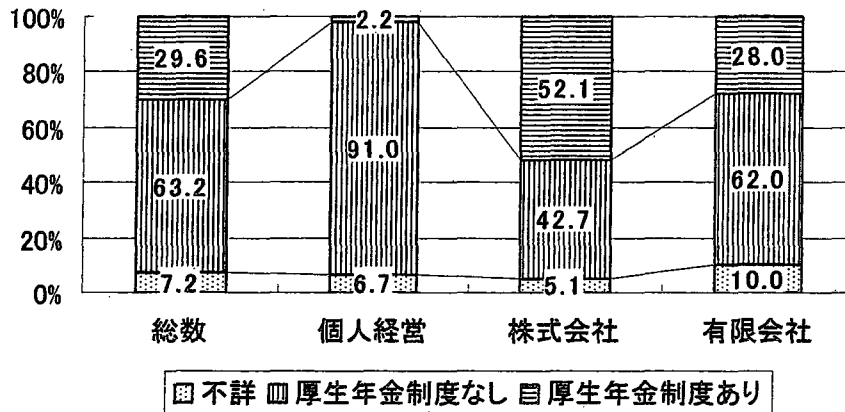


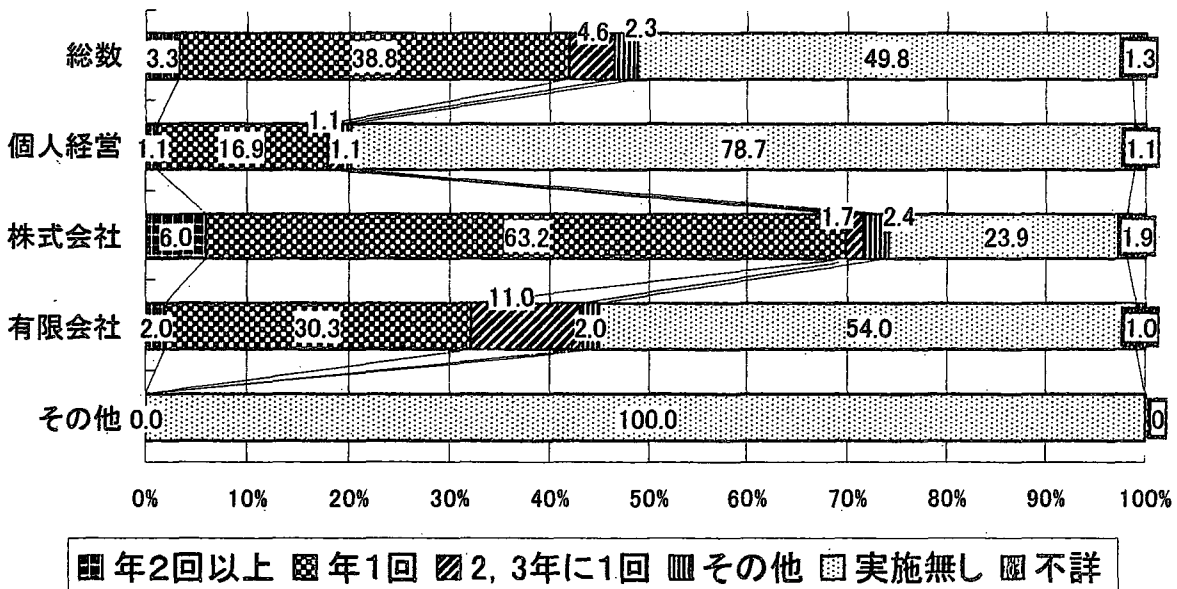
図-24 厚生年金基金制度加入状況・経営形態別
数値:%



(8) 健康診断実施状況 (図-25・次頁参照)

健康診断の実施状況は、何らかの形で実施していない施設は総数で49.8%にのぼる。経営主体別に実施している割合を見ると、「年1回」が各経営主体で群を抜いて多い割合であり、総数38.8%、個人経営16.9%、株式会社63.2%、有限会社30.3%である。

図-25 健康診断の実施状況・経営主体別
数値:%



4 施設・設備の整備状況

4-1 施設・設備の整備状況

(1) 土地・建物の所有状況

① 土地・建物の所有状況（表-21）

土地・建物の所有状況をみると、総数では「土地・建物とも借用」が1位で60.4%ある。これを、経営主体別でみると、各経営主体とも1位で個人経営58.2%、株式会社68.1%、有限会社59.3%である。

次いで比率の多いのは「土地・建物とも自己所有」で総数では23.4%、個人経営27.3%、株式会社13.5%、有限会社21.3%である。「土地・建物とも借用」と「土地・建物とも自己所有」の両者の数値の合計は総数で83.6%、個人経営で85.5%、株式会社81.6%、有限会社80.6%である。

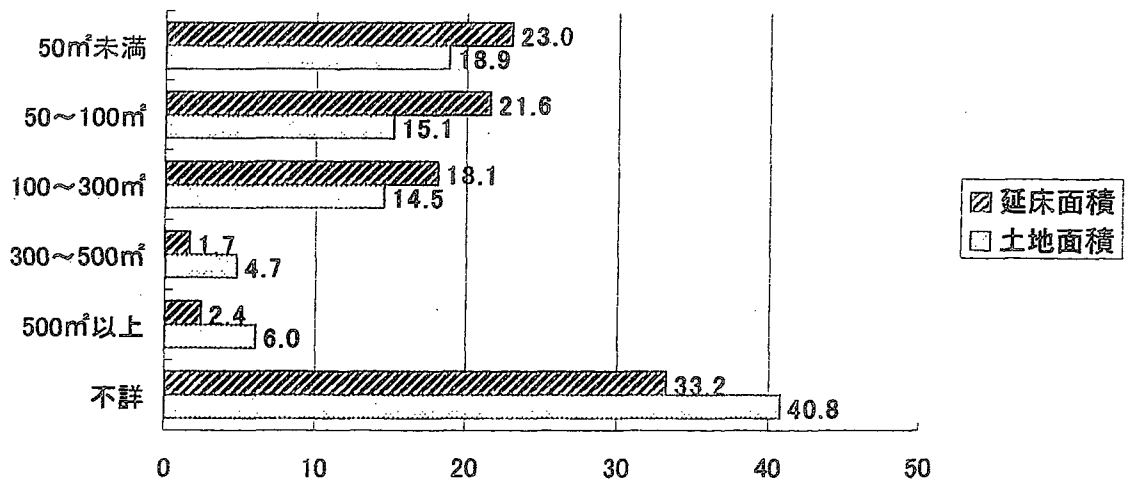
表-21 土地・建物の所有状況・経営主体別

	総数	個人経営	株式会社	有限会社
土地・建物とも自己所有	23.4	27.3	13.5	21.3
土地のみ自己所有	1.2	0.9	-	3.3
建物のみ自己所有	6.2	5.3	7.8	7.3
土地・建物とも借用	60.4	58.2	68.1	59.3
その他	2.4	2.9	1.4	2.0
不詳	6.4	5.5	9.2	6.7

◎数値：%

② 土地面積と延床面積（図-26）

図-26 土地面積と延床面積・総数
数値：%



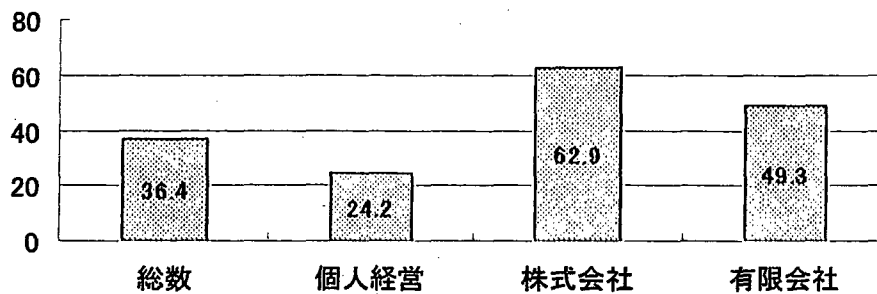
◎ 土地面積の比較を総数でみると、1位は「50㎡未満」18.9%、2位「50~100㎡」が15.1%、3位「100~300㎡」14.5%、4位「500㎡以上」6.0%、5位「300~500㎡」4.7%となっている。

◎ 床面積の比較を総数で見ると、順位は土地面積と同じ順位で並んでいる。1位は「50㎡未満」23.0%、2位「50～100㎡」が21.6%、3位「100～300㎡」18.1%、4位「500㎡以上」2.4%、5位「300～500㎡」1.7%となっている。

③ 1施設あたり平均客席数定員数 (図-27)

1施設あたり平均客席定員数を経営主体別に見ると、総数では「36.4席」、個人経営は「24.2席」、株式会社が「62.9席」、有限会社が「49.3席」である。

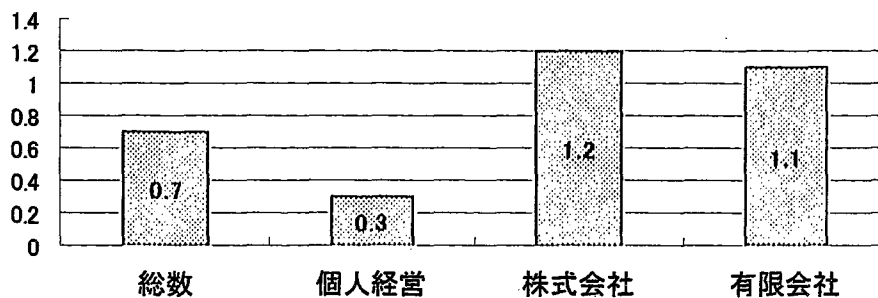
図-27 1施設あたり平均客席数・経営主体別
数値:席数



④ 1施設あたり平均個室数 (図-28)

経営主体別に1施設あたり平均個室数を見ると、1位株式会社の「1.2室」、2位有限会社の「1.1室」、3位個人経営の「0.3室」であり、総数は「0.7室」である。

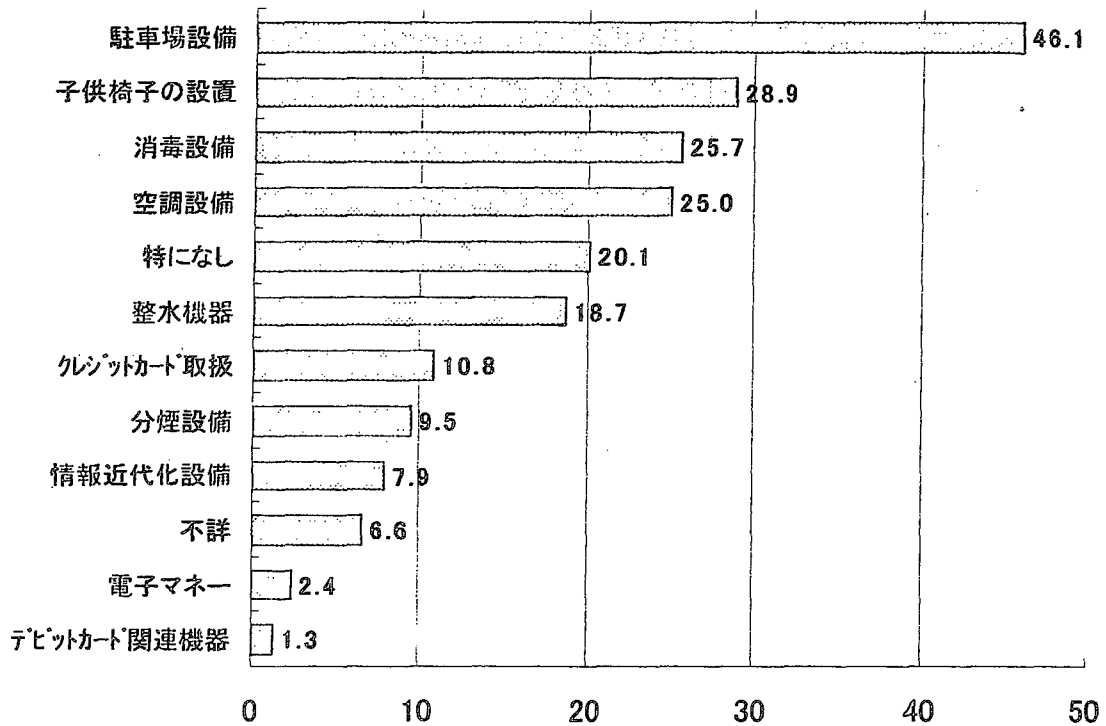
図-28 1施設あたり平均個室数・経営主体別
数値:平均個室数



⑤ 設備の状況 (図-29)

設備の状況では、設備の多い順に、①「駐車場設備」46.1%、②「子供椅子の設置」28.9%、③「消毒設備」25.7%、④「空調設備」25.0%で、以上が上位に並んでいる。次いで、⑤「特になし」20.1%、⑥「整水機器」18.7%、⑦「クレジットカード取扱」10.8%、⑧「分煙設備」9.5%となっている。

図-29 設備等の状況・総数
数値:%



4-2 設備投資実績と予定

(1) 過去3年間と今後3年間の設備投資の実績と予定 (表-22)

過去3年間と今後3年間の設備投資の実績と予定をみると総アンケート数に対して過去3年間の実績有りでは、経営主体別でみると、総数で34.5%、経営主体別では1位「有限会社」41.3%、2位「株式会社」39.7%、3位「個人経営」30.8%である。

向こう3年間の予定の割合は1位「有限会社」28.7%、2位「株式会社」28.4%、3位「個人経営」17.4%となっている。

表-22 設備投資「有り」と「無し」の施設数割合

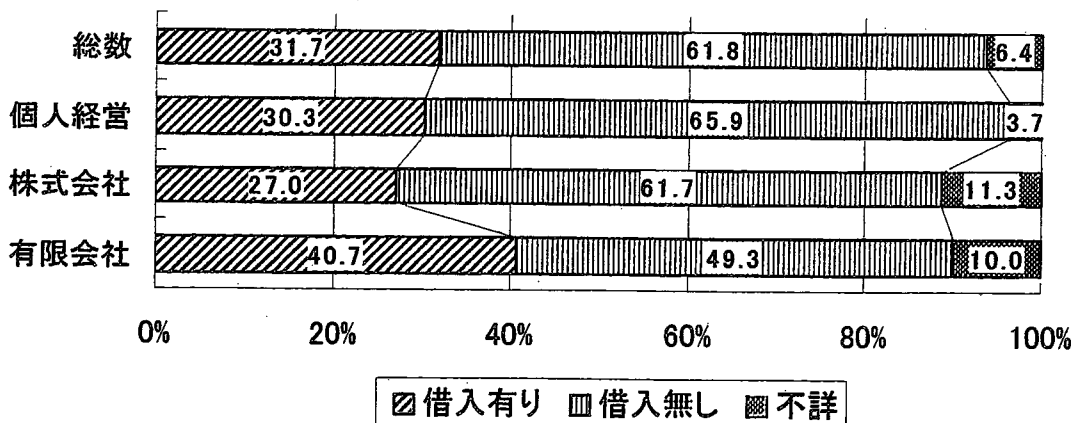
	総数	個人経営	株式会社	有限会社	その他
アンケート総数	747	455	141	150	1
過去3年間に設備投資の実績有り	258	140	56	62	-
実績有りの割合(%)	34.5	30.8	39.7	41.3	-
向こう3年間に設備投資の予定有り	162	79	40	43	-
予定の割合(%)	21.7	17.4	28.4	28.7	-

(2) 過去3年間の設備投資の主な理由

① 過去3年間の運転資金調達状況 (図-30)

過去3年間の運転資金調達状況、借入と借入無しの割合をみると総数では「借入有り」の割合が31.7%、「借入無し」の割合が61.8%である。経営主体別でも割合の比率は比較的似ていることが分かる。

図-30 過去3年間借入金有り・経営主体別・運転資金調達状況
数値:%



② 過去3年の設備投資の主な理由 (表-23・次頁参照)

過去3年の設備投資の主な理由で数値の多いのは「建物・設備の老朽化」が1位であり、「個人経営」70.0%、2位「株式会社」の67.9%、3位「有限会社」56.5%である。総数は66.3%となっている。

表-23 過去3年間の設備投資の主な内容・経営主体別

	過去3年間 実績有り	建物・設備 の老朽化	経営 改善策	利用客の 要望	経営者の 交代	その他	不詳
総数	100.0	66.3	15.9	1.9	1.6	7.4	7.0
個人経営	100.0	70.0	11.4	1.4	2.9	7.1	7.1
株式会社	100.0	67.9	23.2	1.8	-	7.1	-
有限会社	100.0	56.5	19.4	3.2	-	8.1	12.9

◎数値:%

(3) 向こう3年間の設備投資の主な内容と主な理由

① 向こう3年間の設備投資の主な内容 (表-24-①)

表-24-① 向こう3年間の設備投資内容

	向こう3年間 予定有り	施設の 新築・改築	設備の 改装	設備の新設 更新等	省エネ設備 の更新等	その他	不詳
総数	100.0	20.4	36.4	33.3	3.1	2.5	4.3
個人経営	100.0	19.0	38.0	29.1	3.8	5.1	5.1
株式会社	100.0	22.5	20.0	55.0	-	-	2.5
有限会社	100.0	20.9	48.8	20.9	4.7	-	4.7

◎数値:%

向こう3年間の設備投資の主な内容を数値の多い1~2位まででみると、個人経営は1位「設備の改装」38.0%、2位「設備の新設、更新等」29.1%であり、株式会社は1位「設備の新設、更新」55.0%、2位「施設の新築・改築」22.5%で、有限会社は1位「設備の改装」48.8%、2位は「設備の新設、更新等」と「施設の新築・改築」が共に20.9%である。総数は1位「設備の改装」36.4%、2位「設備の新設、更新等」の33.3%である。

② 向こう3年間の設備投資の主な理由 (表-24-②)

表-24-② 向こう3年間の設備投資の理由

	向こう3年間 予定有り	建物・設備 の老朽化	経営 改善策	利用客の 要望	経営者の 交代	水道・光熱費 等の削減	その他	不詳
総数	100.0	54.3	21.0	3.1	1.2	1.9	2.5	16.0
個人経営	100.0	55.7	16.5	6.3	2.5	2.5	1.3	15.2
株式会社	100.0	60.0	17.5	-	-	-	5.0	17.5
有限会社	100.0	46.5	32.6	-	-	2.3	2.3	16.3

◎数値:%

向こう3年間の設備投資の主な理由をみると、どの経営主体でも1位は「建物・設備の老朽化」である。個人経営が55.7%、株式会社60.0%、有限会社46.5%であり2位は「経営改善策」であるが個人経営が16.5%、株式会社17.5%、有限会社32.6%である。

(4) 主な資金調達方法

① 過去3年間の設備投資の主な資金調達方法（表-25）

過去3年間の設備投資の実績有りの比率の中の資金調達方法の内訳を見たのが（表-25）である。総数で、「自己資金」が34.5%で1位、2位は「自己資金と借入金」25.2%、3位「借入」24.0%である。経営主体別で見ても「自己資金」が1位である。

表-25 過去3年間設備投資の主な資金調達方法

	過去3年間 実績有り	自己資金	自己資金と 借入金	借入
総数	100.0	34.5	25.2	24.0
個人経営	100.0	35.0	24.3	26.4
株式会社	100.0	46.4	26.8	10.7
有限会社	100.0	22.6	25.8	30.6

◎数値:%

② 向こう3年間の設備投資の資金調達方法（表-26）

向こう3年間の設備投資の主な調達方法の比率の内訳を見たのが（表-26）である。総数で、「自己資金」が32.1%で1位、2位は「日本政策金融公庫」の21.0%、3位「その他の借入」20.4%で借入先比率の数値が拮抗している。株式会社は「自己資金」が40.0%の1位で他の調達先比率を引き離している。

表-26 向こう3年間の設備投資の資金調達予定(重複回答)

	向こう3年間予定 有り・重複回答	自己資金	日本政策 金融公庫	その他の 借入
総数	107.5	32.1	21.0	20.4
個人経営	107.5	27.8	21.5	27.8
株式会社	105.0	40.0	7.5	17.5
有限会社	109.4	32.6	32.6	9.3

◎数値:%

(5) 日本政策金融公庫について

① 日本政策金融公庫について（表-27-①）

日本政策金融公庫についての理解度を聞いたのが（表-27-①）である。

「知らない」が総数で47.1%、個人経営は50.3%、株式会社は42.6%、有限会社は42.0%と50~42%が「知らない」である。「利用したことがある」は一番高い有限会社の31.3%で一番低いのは株式会社の19.9%である。

表-27-① 日本政策金融公庫についての智識・経営主体別

	総数	個人経営	株式会社	有限会社
利用したことがある	26.0	25.9	19.9	31.3
知っているが利用無し	15.3	12.5	24.1	15.3
名前のみ知っている	6.7	7.0	8.5	4.0
知らない	47.1	50.3	42.6	42.0
不詳	5.0	4.2	5.0	7.3

◎数値:%

② 日本政策金融公庫について知ったきっかけ（表-27-②）

日本政策金融公庫について知ったきっかけについての回答が（表-27-②）である。「同業・知人から」を経営主体別でみると、1位で33.3～23.0%である。次いで「組合等のお知らせ」が株式会社以外で28.5～18.4%である。

表-27-② 日本政策金融公庫について知ったきっかけ・経営主体別

	総数	個人経営	株式会社	有限会社
同業・知人などから	29.9	33.3	23.0	27.6
組合等のお知らせ	22.9	28.5	12.2	18.4
保健所だの案内	2.0	2.9	1.4	-
従来からの付き合い	10.6	10.1	9.5	13.2
雑誌・インターネットから	8.7	5.8	20.3	5.3
その他	9.6	8.7	13.5	7.9
不詳	16.2	10.6	20.3	27.6

◎数値：%

③ 日本政策金融公庫ホームページについて（表-27-③）

日本政策金融公庫ホームページについての回答を見ると、「知らない」が経営主体別で、株式会社以外の1位で47.3～42.7%である。株式会社の1位は「知っているが見たことがない」43.2%である。次いで「知っているが見たことがない」が株式会社以外の2位で34.2～27.1%である。

表-27-③ 日本政策金融公庫HPIについて・経営主体別

	総数	個人経営	株式会社	有限会社
見たことがある	13.7	9.2	23.0	15.8
知っているが見たことがない	31.8	27.1	43.2	34.2
名前のみ知っている	7.8	11.6	1.4	3.9
知らない	42.7	47.3	29.7	43.4
不詳	3.9	4.8	2.7	2.6

◎数値：%

(6) 過去3年間の資金調達先金融機関（表-28）

過去3年間の資金調達先金融機関をみると、総数では1位「信用金庫・地方銀行」58.6%、2位「日本政策金融公庫」30.0%、3位「その他」14.8%、4位「都市銀行」となっている。

表-28 過去3年間の資金調達先金融機関等

	日本政策金融公庫			信用金庫 ・地方銀行	都市銀行	その他	不詳
	振興事業 貸付	普通貸付	生活衛生 改善貸付				
総数	11.8	13.1	5.1	58.6	10.5	14.8	1.3
個人経営	10.1	15.9	5.8	52.9	5.1	18.1	1.4
株式会社	5.3	10.5	2.6	63.2	23.7	13.2	2.6
有限会社	19.7	8.2	4.9	68.9	14.8	8.2	-

5. 福祉・サービスへの取組み

(1) 高齢者や身障者対応状況

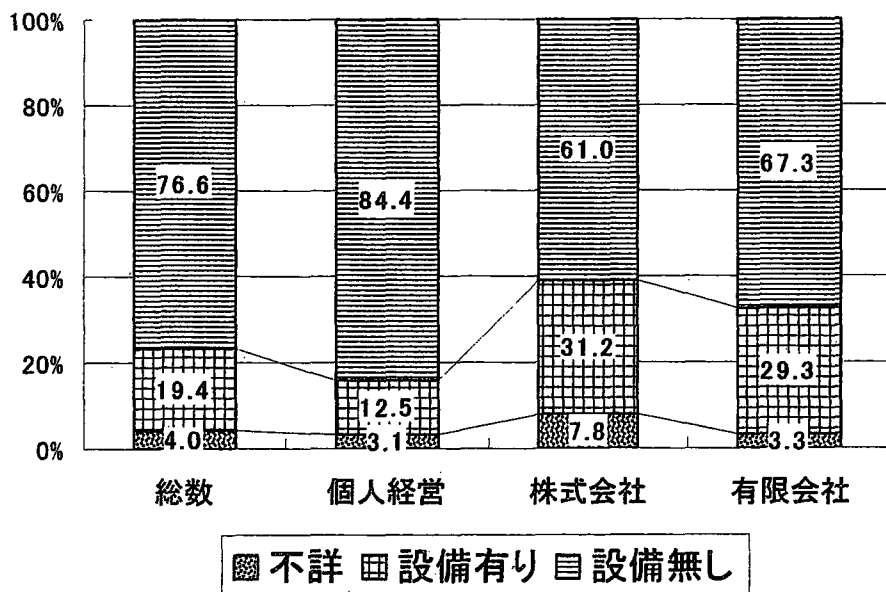
① 高齢者に配慮した設備の有無 (表-29・図-31)

高齢者に配慮した設備の有無を見ると、設備有りの割合は、総数で145施設・19.4%、個人経営57施設・12.5%、株式会社44施設・31.2%、有限会社44施設・29.3%である。

表-29 高齢者に配慮した設備の有無・経営主体別

	施設数			設備なし(重複回答)		不詳	
	総数	設備有り	実績率 (%)	施設数	(%)	施設数	(%)
総数	747	145	19.4	572	76.6	30	4.0
個人経営	455	57	12.5	384	84.4	14	3.1
株式会社	141	44	31.2	86	61.0	11	7.8
有限会社	150	44	29.3	101	67.3	5	3.3
その他	1	-	-	1	100.0	-	-

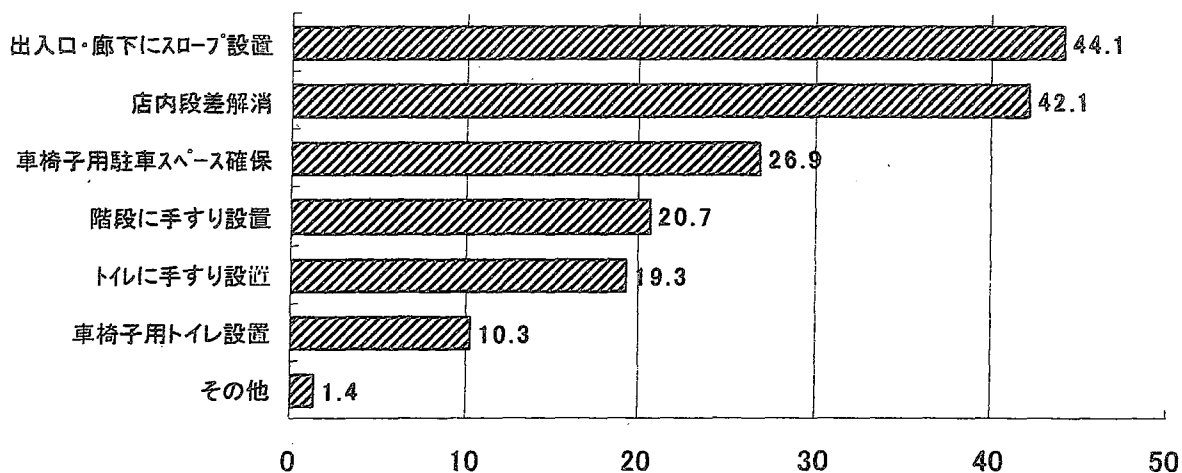
図-31 高齢者に配慮した設備の有無・経営主体別
数値:%



② 高齢者に配慮した設備の実施内容 (図-32・次頁参照)

高齢者に配慮した設備内容を回答率の多い順にみると、1位「出入口・廊下にスロープ設置」44.1%、2位「店内段差解消」42.1%で、この2項目が群を抜いており続いて3位「車椅子用駐車スペース確保」26.9%、4位「階段に手すり設置」20.7%、5位「トイレに手すり設置」19.3%、6位「車椅子用トイレ設置」10.3%、7位「その他」1.4%の順になっている。

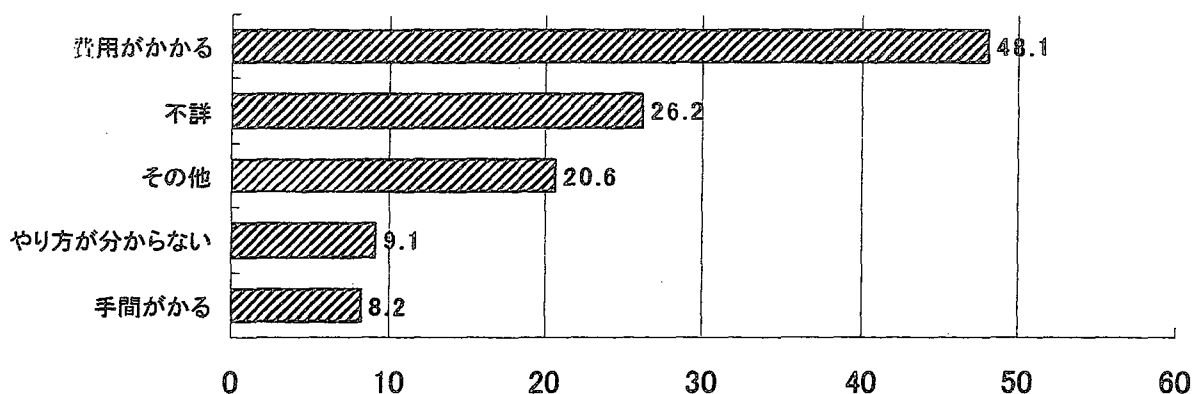
図-32 高齢者に配慮した設備内容・総数
重複回答・数値:%



③ 高齢者に配慮した設備無し理由 (図-33)

高齢者に配慮した設備無し理由をみると、1位「費用がかかる」48.1%で群を抜いて大きな比率である。2位「不詳」26.2%、3位「その他」20.6%、4位「やり方が分からない」9.1%、5位「手間がかかる」8.2%となっている。

図-33 高齢者に配慮した設備無し理由・総数
重複回答・数値:%

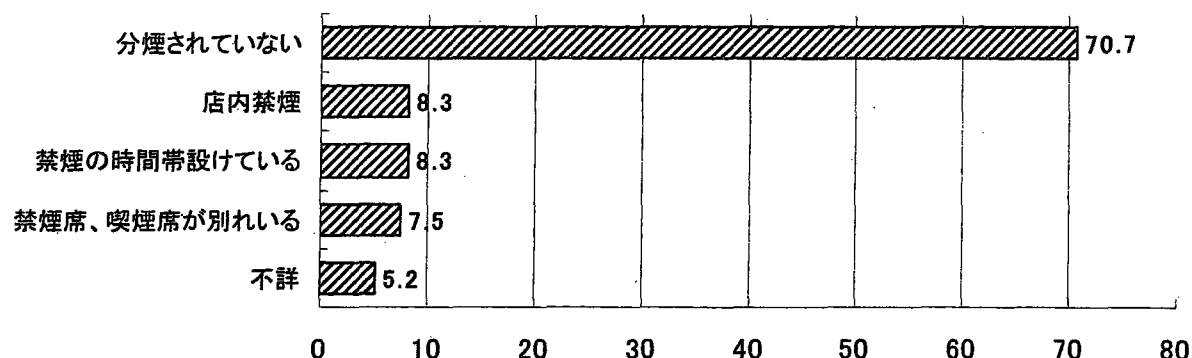


(2) 分煙の状況

分煙の状況 (図-34・次頁参照)

分煙の状況では、「分煙されていない」が70.7%を占めており、「分煙実施」の内容では、「店内禁煙」8.3%、「禁煙の時間帯を設けている」8.3%、「禁煙席と喫煙席の分離」7.5%、「不詳」5.2%の順になっている。

図-34 分煙の状況・総数、数値:%



(3) ごみ減量化・リサイクル事業

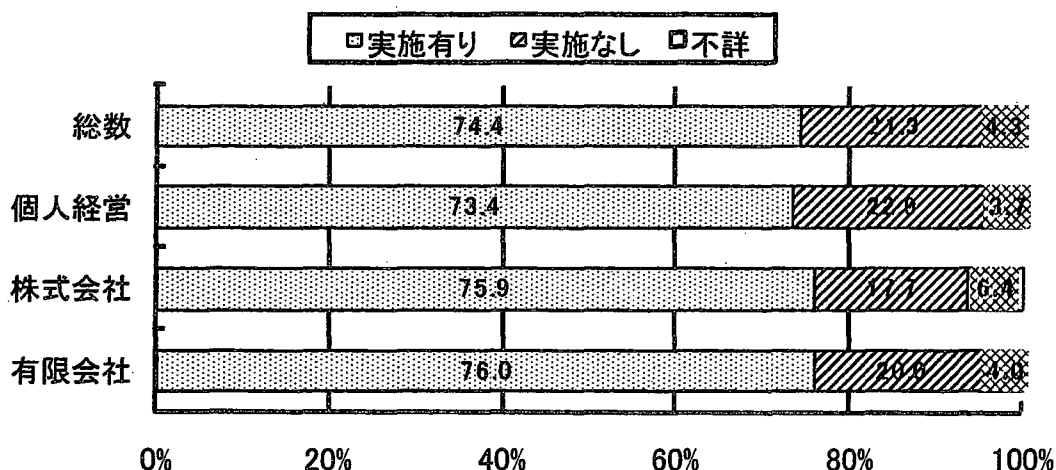
① ごみ減量化・リサイクル等実施状況 (表-30・図-35)

ごみ減量化・リサイクル等実施率は、総数で556施設・74.4%、個人経営334施設・73.4%、株式会社107施設・75.9%、有限会社114施設・76.0%である。

表-30 ごみ減量化・リサイクルの実績率(重複回答)・経営主体別

	総数	実績有り施設数		実施なし		不詳施設数	
		施設数	実績率 (%)	施設数	(%)	施設数	(%)
総数	747	556	74.4	159	21.3	32	4.3
個人経営	455	334	73.4	104	22.9	17	3.7
株式会社	141	107	75.9	25	17.7	9	6.4
有限会社	150	114	76.0	30	20.0	6	4.0
その他	1	1	100.0	-	-	-	-

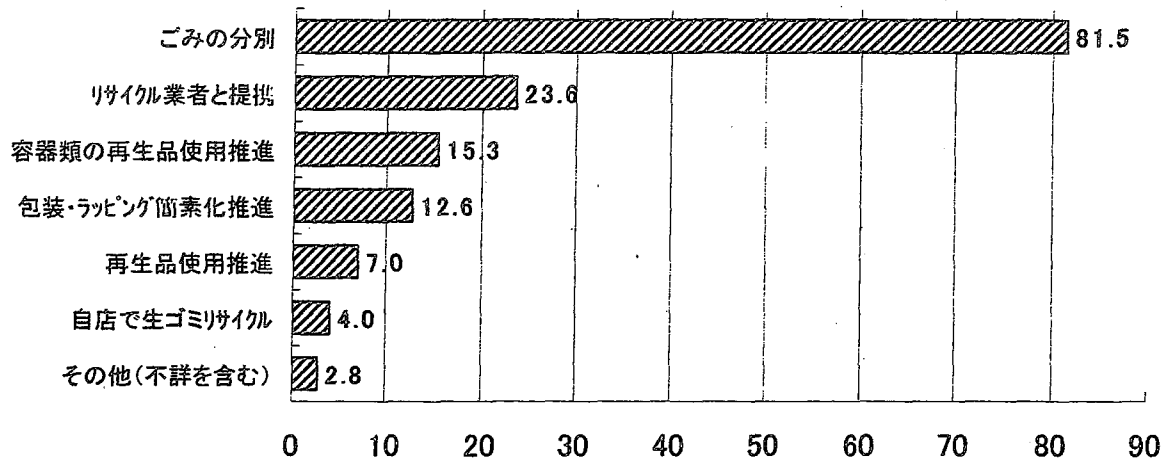
図-35 ゴミ減量化・リサイクルの実施状況・経営主体別・数値:%



② ごみ減量化・リサイクル等実施内容・総数 (図-36・次頁参照)

ごみ減量化・リサイクル等実施内容をみると、多い割合順に1位「ゴミの分別」81.5%で断トツに多い割合である、2位「リサイクル業者と提携」23.6%、3位「食器類の再生品使用推進」15.3%、4位「包装・ラッピング簡素化」12.6%と続いている。

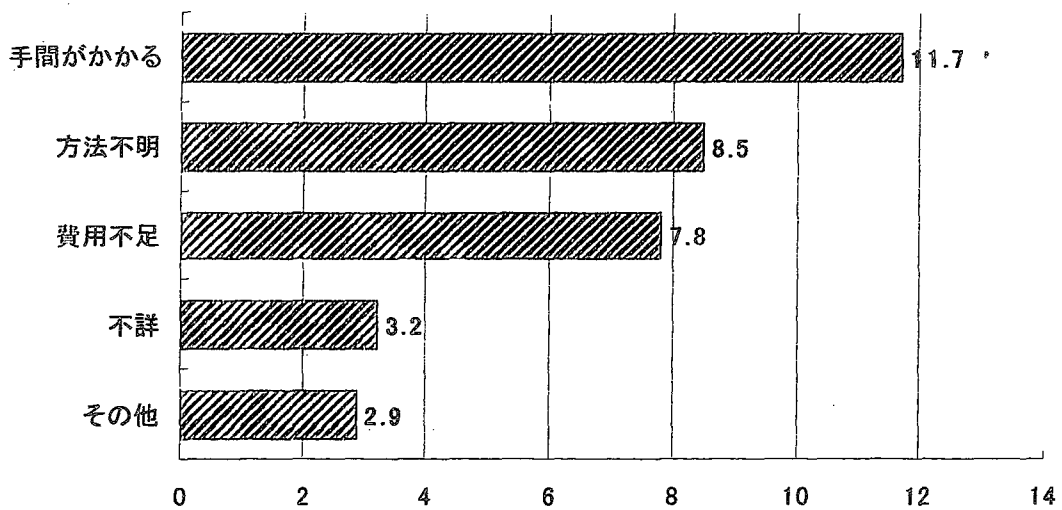
図-36 ゴミ減量・リサイクル実施状況・総数
 数値:%



③ ゴミ減量化・リサイクル等を実施しない内容・総数 (図-37)

ゴミ減量化・リサイクル等を実施しない内容をみると、「手間がかかる」11.7%で最も多く、次いで「方法不明」8.5%、3番目は「費用不足」7.8%の順になっている。

図-37 ゴミ減量化リサイクル等実施なしの内容・総数
 重複回答 数値:%



(4) 廃食用油の処理について

① 廃食用油排出「有り」「無し」の状況 (表-31)

廃食用油排出有り・無しの状況を経営主体別にみると、「有り」の施設数は総数で300の40.2%、「無し」55.7%である。個人経営は「有り」の施設数は147の32.3%、「無し」64.0%である。株式会社は「有り」の施設数は81の57.4%、「無し」37.6%である。有限会社は「有り」の施設数は71の47.3%、「無し」48.0%である。

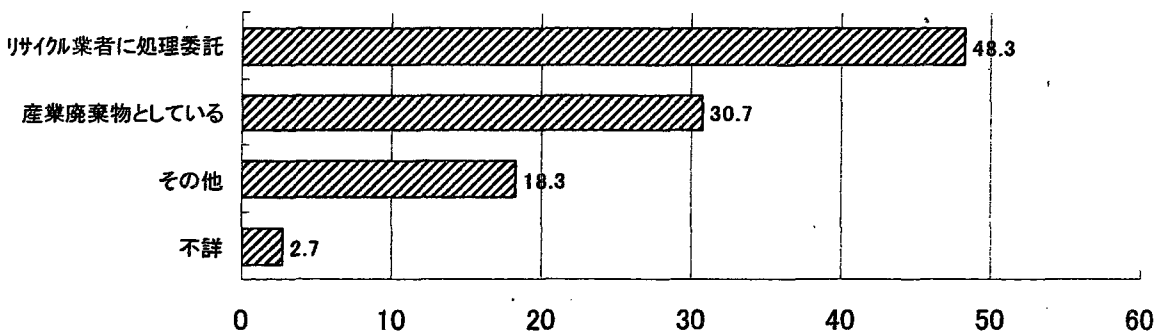
表-31 廃食用油排出有りの割合

	施設数			設備なし(重複回答)		不詳	
	総数	設備有り	有り実績率 (%)	施設数	(%)	施設数	(%)
総数	747	300	40.2	416	55.7	31	4.1
個人経営	455	147	32.3	291	64.0	17	3.7
株式会社	141	81	57.4	53	37.6	7	5.0
有限会社	150	71	47.3	72	48.0	7	4.7
その他	1	1	100.0	-	-	1	100.0

② 廃食用油の処理方法 (図-38)

廃食用油の処理方法をみると「リサイクル業者に処理委託」が48.3%で一番多く、次いで「産業廃棄物としている」30.7%、「その他」18.3%、「不詳」2.7%となっている。

図-38 廃食用油の処理方法・総数
数値:%



③ 廃食用油の処理回数と費用 (表-32・33・次頁参照)

廃食用油の処理回数をみると、1ヶ月、1施設あたり平均処理数は、総数で7.7回、個人経営は7.6回、株式会社は6.6回、有限会社は8.6回となっている。

廃食用油の処理費用をみると、1ヶ月、1施設あたり平均処理費用は、総数で13,039円、個人経営は10,719円、株式会社は20,666円、有限会社は12,130円となっている。

廃食用油1ヶ月平均リサイクル買取代は総数で899円、個人経営899円、株式会社597円、有限会社1,247円である。

表-32 廃食用油1ヶ月の平均処理費用

	廃油処理費用 有り・施設数	1施設、1ヶ月当たり 平均処理回数	1施設、1ヶ月当たり 平均処理費用(円)
総数	92	7.7	13,039
個人経営	44	7.6	10,719
株式会社	22	6.6	20,666
有限会社	26	8.6	12,130

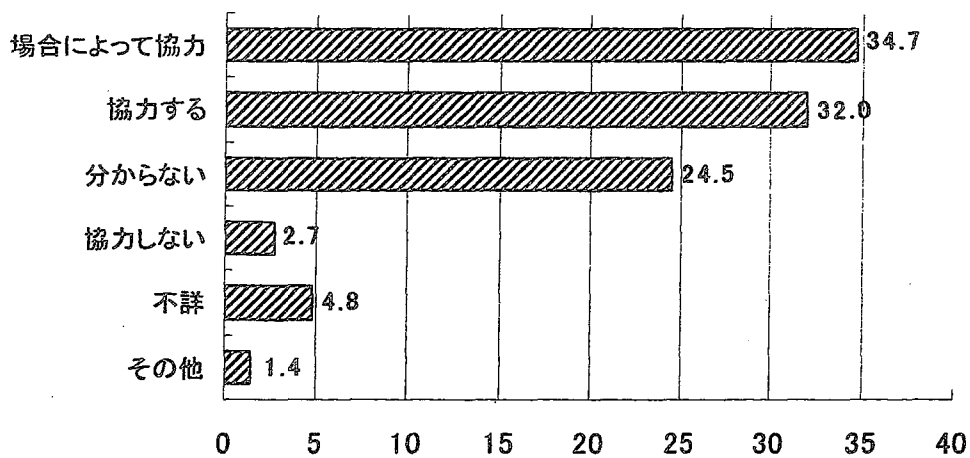
表-33 廃食用油1ヶ月の平均リサイクル買い取り代

	廃油リサイクル買取 費用有り・施設数	1施設、月平均リサイ クル買い取り代(円)
総数	36	899
個人経営	12	899
株式会社	13	597
有限会社	11	1247

④ 廃食用油のリサイクルへの協力度 (図-39)

廃食用油のリサイクルへの協力度をみると、「場合によって協力」34.7%が1位で、2位「協力する」32.0%とこの二つで合計66.7%である。次いで「分からない」24.5%、4位「協力しない」2.7%である。

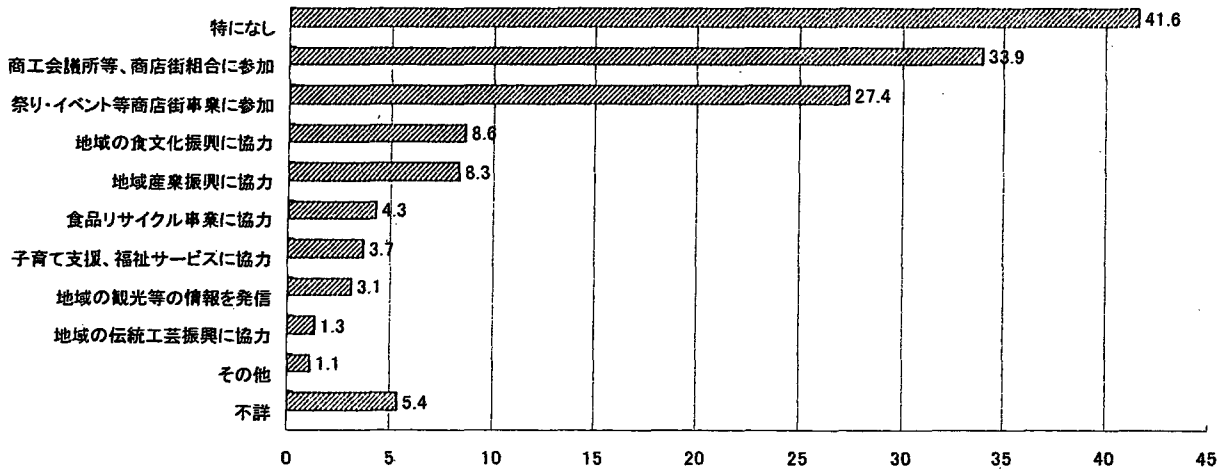
図-39 廃食用油のリサイクル意志・総数・数値:%



(5) 地域との共生の状況 (図-40)

地域との共生の状況を見ると、「特になし」41.6%が1位に来ている。2位「商工会議所等、商店街組合に参加」33.9%、3位「祭り、イベント等商店街事業に参加」27.4%と続いている。4位「地域の食文化振興に協力」8.6%、5位「地域産業振興に協力」8.3%となっている。

図-40 地域との共生の状況・総数・数値・%



(6) 標準営業約款について (表-34)

標準営業約款についての認知度を経営主体別に図表にしたのが表-34である。「知らない」が経営主体別全てで1位であり、70.1~56.7%である。「名前のみを知っている」が経営主体別全てで2位であり、28.4~20.7%である。対して「内容を知っている」が経営主体別全てで低い数値で6.7~3.5%である。

表-34 標準営業約款について認知割合・経営主体別

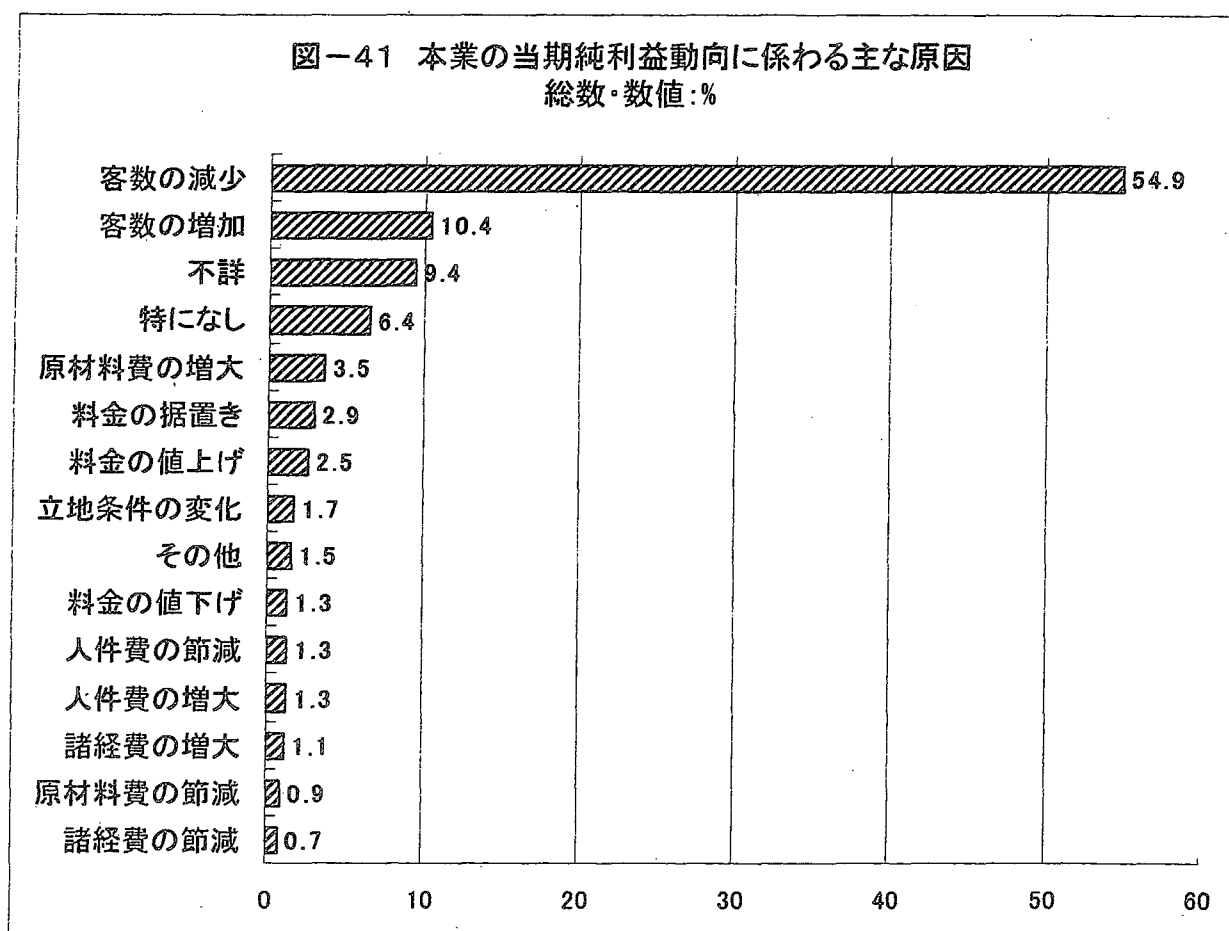
	総数	個人経営	株式会社	有限会社
内容を知っている	4.3	3.5	4.3	6.7
名前の見知っている	22.2	20.7	28.4	21.3
知らない	66.8	70.1	56.7	66.0
不詳	6.7	5.7	10.6	6.0

◎数値:%

6 経営上の問題点と今後の方針

(1) 当期純利益動向の原因 (図-41及び表-35参照)

- ① 当期純利益動向に係る経営上の問題点をみると、他を大きく引き離してトップは「客数の減少」54.9%である。数値は2位以下は差がついて「客数の増加」10.4%、3位は「不詳」9.4%、4位「特になし」6.4%、5位「原材料費の増大」3.5%、6位「料金の据え置き」2.9%、7位「料金の値上げ」2.5%、8位「立地条件の悪化」1.7%と続いている。上位にランクされている項目は、いままでみてきたアンケートからも読み取れるが、今日の中華料理店の直面している大きな課題（顧客の減少に関する事項等）が、改めて示されている。



② 今期（20年度）売上高の前年比増減割合（表-35-①と②）

今期（20年度）売上高の前年比増減割合一覧表をみると、明らかに減少割合が大きいことが明確になっている。

表-35-1 20年度売上高の前年対比・経営主体別

	5%以上増加	1~4%増加	1%未満増減	1~4%減少	5%以上減少	不詳
総数	6.2	7.0	9.5	20.2	45.5	11.6
個人経営	4.6	5.5	9.0	20.2	51.0	9.7
株式会社	9.9	11.3	12.8	17.7	29.1	19.1
有限会社	7.3	7.3	7.3	22.7	44.7	10.7

◎数値:%